

愛犬の口腔内の健康維持のために

『歯周病』を正しく管理しましょう！

<犬歯周病の原因と進行>

歯垢（プラーク）：歯の表面に付着しているネバネバしたもので、歯周病を起こす細菌の塊

歯石：歯垢が唾液中のミネラルと結合し石の様に硬く固まったもの

歯肉炎：歯垢や歯石の付着により歯肉が炎症（細菌感染）を起こした状態⇨治療により改善

歯周炎：歯肉炎により感染が歯肉から歯周組織へ波及し（歯周ポケットの形成・歯槽骨の吸収）、歯を支えにくくなった状態⇨治療により症状は改善するが歯槽骨の改善は困難

<正確な診断による治療>

重度の歯周炎

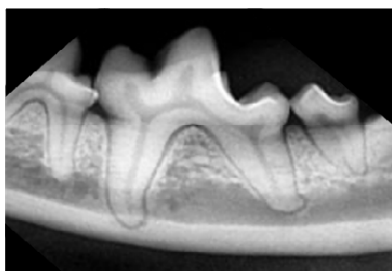


動物病院で獣医師による口腔内全体の診察を受け、治療することが大切です。

歯垢・歯石除去に際しデリケートな歯肉からの出血や、原因となる細菌の増殖を抑えるための投薬が必要となるかもしれません。顎の骨の吸収などが起こっているかレントゲンを撮ることも必要です。また恐怖や痛み、事故を防ぎ適切な治療のために**全身麻酔下**で行うことが推奨されます。このような診療行為は、**獣医師にのみ***認められています。（*農林水産省HP）

X線画像

正常



重度歯周炎：著しい歯槽骨の吸収が見られる



<全身への影響>

心臓

肺

肝臓

腎臓

歯周病は、口腔だけの問題ではなく心臓、肺、肝臓、腎臓など様々な臓器の病気と関連していることがわかっています。また病気との関連だけでなく、実際の寿命が短くなる可能性も報告されています。

大切な愛犬のお口の健康維持のため動物病院で定期検診を受け
ホームケアの仕方も相談しましょう

協力：日本小動物歯科研究会副会長 網本昭輝先生 / 物産アニマルヘルス株式会社

監修：日本小動物獣医師会